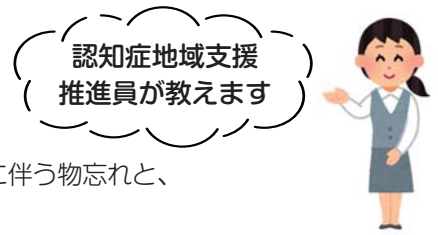


～おしえて!! 認知症～ =第④回=

## 認知症と「物忘れ」の違いとは？

年齢を重ねると、脳の老化によって誰もが物忘れをしやすくなりますが、加齢に伴う物忘れと、認知症は大きく違います。



### 加齢による物忘れ

- ・物忘れを**自覚している**
- ・体験したことの**一部を忘れる**
- ・ヒントがあれば**思い出す**
- ・日常生活に**支障はない**
- ・判断力は**低下しない**

### 認知症による物忘れ

- ・物忘れの**自覚がない**
- ・体験したこと**自体を忘れる**
- ・ヒントがあっても**思い出せない**
- ・日常生活に**支障がある**
- ・判断力が**低下する**

### 認知症の主な初期症状

- 同じ事を何度も言ったり、聞いたりするようになった
- 物の名前が出てこなくなった
- 置き忘れやしまい忘れが目立つようになった
- 以前はあった関心や興味が失われた
- 水道の蛇口の閉め忘れ、ガスの火の消し忘れが目立つようになった
- 財布やお金などを盗まれたと言うようになった



### 認知症は早期発見が重要です。

早めに診断されて治療を始めれば、進行を遅らせたり、日常生活の工夫で改善できたりすることもあります。物忘れだけが認知症の兆候ではありませんが、上記チェックで認知症の症状が少しでも疑われるときには、早めにかかりつけの医師や専門の医療機関を受診して正しい治療を受けましょう。

### 認知症カフェ「いたこハートカフェ」次回開催予定

- 日時** : 3月9日(水) 午後2時～3時30分
- 場所** : グループホームこころ内「カフェつぐみ」(潮来市日の出1-21-1)
- 定員** : 10人(要予約)
- 申込み** : グループホームこころ ☎80-9055  
1月の参加人数は2人でした👍(^^)♪

# 潮来市の誇れる文化 第133回

## ひよしさんのうじんじや 日吉山王神社

**所在地** 潮来市永山二九五番地  
**祭神** 大山咋命 (おおくまののみこと)  
**祭事** 風日祭り(風水害のな

いように祈る)  
新嘗祭(収穫を祝う)

創建年代は不明であるが、今から約一、三〇〇年前の和銅六年(七一三年)に編纂された『常陸国風土記』に「香澄の里(行方市麻生南部)潮来市牛堀西部)あり、東の山に社あり」と記されている社が永山の日吉山王神社です。

この神社は鎌倉時代中期、桓武平氏の流れをくむ長山伊賀守与一郎知幹が、永山(長山)に築城するにあたり、牛堀西部境より現在の地に移転され、その後、長山城主が一〇代氏神として、尊崇した神社とされています。

また、神社周辺には、長山氏の家臣の家敷跡と思われる氏神様が、数多くあることから神社を中心に集落が形成されていたようです。

以前は、「日吉」「山王」「三熊」の三社、神社があり、大山守の須田氏が牛堀に移転する時に、三熊神社を割譲したので、現在は日吉山王神社と三熊神社の二社となっています。



この神社境内全域は、県の緑地環境保全地域及び市の天然記念物(日吉山王神社の森)に指定され、大般若経は市の有形文化財(日吉山王神社の大般若経)に指定されています。

日吉山王神社は、今では「村の鎮守様」として、正月の御参り、春と秋の風日祭り、金比羅神社祭礼、新嘗祭他祝事などに親しまれ、地域にとって誇れる神社となっています。

(参考文献)

うしほりの文化財  
ふるさと潮来 第三十輯

潮来市文化財保護審議会

委員 吉川利一